

平成30年度 国民健康保険運営協議会

- 1 日 時：平成31年3月20日（水）13:30～
- 2 場 所：ラッセホール5階 ハイビスカス
- 3 出席者：足立委員、臼井委員、笠井委員、守殿委員、北浜委員、衣笠委員、木村委員、澤田委員、高委員、竹内委員、細川委員、森口委員、山中委員（14名中13名出席）
- 4 議 事：
 - (1) 国民健康保険運営協議会運営規程等の改正について
→ 事務局(案)のとおり改正された。
 - (2) 国民健康保険運営方針における目標収納率の見直しについて
(委 員) 兵庫県の収納率は、全国平均よりも高いのか。
(事務局) 本県の収納率は全国平均よりも高く、全国順位は19位（平成28年度）となっている。
(委 員) 資料2の表に、参考として保険者規模別に全国最高値が記載されているが、できれば全国平均値も記載されていると、分かりやすいのではないか。
(事務局) 承知した。今後は、全国平均値も掲載する。
 - (3) 平成30年度国民健康保険の運営状況について
(委 員) 目標収納率の達成については、各市町に努力をお願いするだけで、県として達成するための手段は何かあるのか。
(事務局) 県2号繰入金の配分において、各市町の目標収納率の達成状況を評価することにより、収納率向上の取組を支援している。
(委 員) 各市町の保健事業や医療費適正化の取組に対しては、何か支援しているのか。
(事務局) 総額約90億円の県2号繰入金のうち、約60億円を活用し、各市町の保健事業等の取組状況を評価し、財政支援している。
また、29年度に、近畿では初めて、県医師会、県糖尿病対策推進会議及び県で重症化予防に係る連携協定を締結し、兵庫県版重症化予防プログラムを策定するなど、市町における重症化予防の取組を促進するための支援体制を構築した上で、今年度は、市町保健担当者向け研修会や先進事例発表会等を開催している。今後も、引き続き、市町の創意工夫による保健事業等を支援していきたい。

(4) 平成31年度国民健康保険事業費納付金の本算定結果について
質疑なし

(5) 平成31年度当初予算（国民健康保険事業特別会計）の概要について

(委 員) 兵庫県は、かなり順調なスタートを切ったという報告であったが、全国の都道府県の状況はどうか。

(事務局) 新制度では、予期せぬ給付増や保険料収納不足により財源不足になった場合に備え、一般財源から財政補填等を行う必要がないよう、都道府県に、全国で2,000億円規模の財政安定化基金が設置されているが、全国的に見ると、今年度の補正予算ではその4分の1が使われる予定と聞いている。

予期せぬ給付増に加え、去年は、西日本豪雨、大阪北部地震、北海道胆振地震等の災害が多く発生したこともあり、基金を使わざるを得なかった都道府県も多いと聞いている。

(委 員) 是非、今後とも安定運営に努めていただきたい。

(事務局) 承知した。今後ともご指導をよろしくお願いしたい。

以 上